

十市監委第 107 号
令和 8 年 2 月 10 日

十和田市長 櫻田 百合子 様

十和田市議会
議長 石橋 義雄 様

十和田市教育委員会
教育長 丸井 英子 様

十和田市選挙管理委員会
委員長 欠畑 茂治 様

十和田市監査委員 森田 幸夫

十和田市監査委員 岩間 貴

令和 7 年度定期監査の結果報告について

地方自治法第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定に基づき実施した令和 7 年度定期監査の結果について、同条第 9 項の規定により、別紙のとおり報告します。

令和7年度 定期監査結果報告書

1. 監査の種類

定期監査(地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による監査)

2. 監査の対象

(1) 対象課

聴取日	対象部局・課名	
令和8年1月22日	健康福祉部	高齢介護課
	教育委員会	指導課
	選挙管理委員会事務局	
	会計管理者	
令和8年1月23日	総務部	秘書課
	企画財政部	情報政策課
	民生部	市民課
	企画財政部	政策財政課
	農林商工部	商工観光課

(2) 監査の範囲

令和7年度(4月から10月末まで)に執行された財務に関する事務及び事業運営の管理

3. 監査の主な着眼点

- 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。
- 収入、支出に係る事務の手続きが適正に行われているか。
- 契約事務が適正に執行されているか。
- 備品の管理が適正に行われているか。
- 現金等の取扱事務は適正に処理されているか。
- 関係事務が法令・条例等に基づき適正に処理されているか。
- 想定されるリスク等について、対応策及び管理体制は十分か。

4. 監査の主な実施内容

十和田市監査基準に準拠し、次により実施した。

- 事前に監査項目を定めた監査資料の提出を求め、それに基づき監査対象課ごとに諸帳簿・書類等の試査・照合等、事務局職員による書面監査を行った。
- 関係職員から事務事業の執行状況について、監査資料に基づき説明を受け、監査委員による質疑応答を行った。

5. 監査の期間

令和7年12月16日から令和8年2月10日まで

6. 監査の結果

財務に関する事務について関係書類を調査した結果、事務の処理・書類の整備等は、概ね適正に処理されていることが認められた。

監査の際に見受けられた事務処理上の軽微な過誤等については、検討及び留意のうえ、適正な事務執行に努められたい。

令和8年2月10日

令和7年度 定期監査における要望事項

十和田市監査委員 森田 幸夫

十和田市監査委員 岩間 貴

監査の結果、特段の指摘事項は認められなかったが、次の事項について検討及び留意のうえ、適正な事務執行に努められたい。

■ 共通事項

(1) 公金等の適正管理について

現金、郵便切手等を含む公金並びに準公金の管理、取扱いについては、概ね適正に行われているものと認められた。担当者任せにすることなく、所属長による定期的な確認・指導を徹底することで不正を防止し、公金等の適正な管理が図られるようお願いしたい。

(2) 事務執行体制について

組織全体に共通するリスクから各部署特有のリスクまで、多岐にわたるリスクが存在する中で、事務処理誤りや遅延等の人的ミスに次いで、引継ぎなどの業務継承不足によるリスクを懸念している部署が多く見受けられた。

組織改編を控える新年度に向けて、大きな混乱を招くことのないよう早期に事務引継ぎ体制を整えるとともに、日頃より知識と経験を有する者がメンターとして機能するよう職場内での情報共有を図っていくことで、新体制移行後も円滑な事務が遂行されるよう望むものである。

■ 個別事項

総務部 秘書課

市長・副市長のスケジュール調整については、苦勞する点が多いかと思うが、しっかりと対応できている。職員の休暇の取得や時間外勤務についても、無理がないような配慮をお願いしたい。

企画財政部 政策財政課

政策的なことから財政運営までと、多岐にわたる業務を抱えており、重要な部署であると認識している。第3次十和田市総合計画の策定に向けて、ウェルビーイング(市民の幸福度)が高まる政策の立案など、持続可能な十和田市の発展を目指し、より一層注力していただきたい。

企画財政部 情報政策課

専門性の高い特殊な業務が多い中で、計画的かつ前向きに取り組んでいると評価できる。今後も DX 推進のために、全庁的なコミュニケーションを図りながら業務を進めていただきたい。

民生部 市民課

「市町村 DX 加速化推進事業」モデル自治体として市民の利便性向上と行政事務の効率化に向けて業務の見直しを行っており、今後の取組が期待される。業務改善策等を検討していくうえで、窓口モデルの核となる部署であることから、今後も関係部署と連携しながら、事業を推進していただきたい。

健康福祉部 高齢介護課

介護保険システムの標準化に関連する業務については、予定通りに進まず苦慮している面もあり、納期を踏まえた計画的な遂行を図られたい。

リスクへの対応策として掲げているメンター制度については、人的ミスの軽減や周囲へのサポート体制の充実などのメリットが得られることから、積極的に取り入れていくことで定期的に大きく変わる介護保険制度へ適切に対応していただきたい。

農林商工部 商工観光課

前回の要望事項であった契約関係の進捗管理については、管理簿を作成し定期的なチェックを行うなど適切に対応している。

「十和田市観光戦略 2025-29」に掲げるアクションプランに基づき、十和田湖・奥入瀬溪流を始めとする魅力ある観光資源を最大限に活用し、広く外部へ情報発信することで、市街地へも人を呼び込み、市全体の活性化や収益の増加へも繋がっていくような事業の展開を期待したい。

教育委員会 指導課

備品の管理方法など、一部改善を要する部分もあるが、概ね問題なく事務執行されている。多様化する教育現場への対応は、苦労も多く責務も重いと思うが、次代を担う児童生徒の健全な育成のため、引続き尽力していただきたい。

選挙管理委員会事務局

選挙の際の人員確保が毎回の懸案事項となっていることから、投票時間の繰り上げや投票所の統廃合について、有権者の利便性も確保しつつ現状に合わせた検討を加速化していただきたい。繁忙期と閑散期の差が大きいように見受けられるが、閑散期においては、様々な課題の整理・整備に努め、突発的な選挙へも柔軟に対応できるよう備えていただきたい。

会計管理者

前年度まで全庁的に発生していた支払遅延がかなり減少したことは、当該部署における繰り返しの注意喚起が抑制効果の一つになっていると認識している。資金管理も堅実にされており、大いに評価できる。今後も収支状況を的確に把握し、支障のない資金運営を行っていただきたい。